

## 平成21年度広域地方計画先導事業の選定結果概要について

地方公共団体や経済団体等による地域発意に基づく先導的なソフト事業の立ち上げを支援するため、標記事業の提案を公募していたところ(公募期間4/1～4/24)ですが、全国から31件の応募があり、下記の通り、15件を選定しました。

## 記

## 1. 選定された提案の特徴

今回の事業は、広域地方計画に関わるブロック独自の地域戦略について、地域に根ざした行政、経済主体の実践活動を通じた実現が図られるよう、地方公共団体や経済団体等による地域発意に基づく先導的なソフト事業の立ち上げ支援をしていくこととしておりますが、全国から独創的、先導的なアイデアが多数寄せられ、選定された提案の実施を通して、広域ブロックの自立的発展にむけた新たな展開が広がると期待されます。

選定された提案を見ると、東アジア等に向けた産業国際連携、物流・交通効率化、都市と農山村連携による地域再生、地域資源を活かした経済活性化、広域連携・交流促進のための体制構築など、地域の事情に即した提案が多く見られました。

## 2. 選定方法等

選定にあたっては、学識経験を有する専門家など外部の有識者による審査委員会において、具体的な事業の立ち上げの実現可能性、地域の発意に根ざしたソフト事業としての先進性・新規性、持続的な活動としての定着の可能性、広域ブロックの自立的発展につながる効果、実効性などの観点から審査し、選定しました。

## 【参考:審査委員会の委員】

委員長	奥野 信宏	中京大学総合政策学部長
	宮川 努	学習院大学経済学部教授
	村木 美貴	千葉大学大学院工学研究科准教授

(敬称略、五十音順)